



集大成

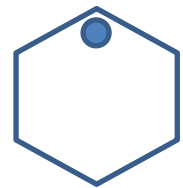
平成29年6月13日(火)
四季が丘小学校 研究推進便り

研修報告

6月8日(木)に大野中学校の校内研修に参加してきました。

まず、講師の加藤明先生による算数科の模擬授業を参観しました。加藤先生は、シンプルな授業展開の中で、5年2組の児童の知的好奇心をくすぐりながら、主体的・対話的で深い学びを実現されていました。(授業の内容については別添資料をご覧ください。)

この授業のポイントは「わかっていることを整理する」ということでした。正六角形のシールが貼ってある場所について分かっている情報をどう整理するのが問題を解くカギです。



(当日配付された資料より)

思考力と関心・意欲・態度を育てるために・・・

- 「おもしろそうだ! やってみたい!」という思いが導入段階だけにならないように、ますます意欲が高まってくるような単元計画を立てる。
- 教材はシンプルに!
- A L型と講義型を併用する。
- 今まで見えなかったものを広げていく。あたかも子どもが見つけたように。
- 授業が終わってからもやってみたいという家庭学習につなげる工夫をする。そこから自学の力をつけていく。

最後の最後まで集中し、歓声をあげて終われる授業をめざしていきましょう!



第3回校内研修「新聞記事を読み比べよう」のまとめを行いました。

6/9（金）に次世代型教育推進センターの木野村先生に授業を観ていただき、単元全体を振り返りながらまとめを行いました。

当日行いました第6時の授業では、福山で行われたトライアスロンをテーマにした記事から書き手の意図を読み取るというパフォーマンス課題を設定しました。

主体的な学びを促すしかけ

1 前時の学習を振り返り、本時のめあてを設定する。

ICTを活用し、前時の学習を想起

2 新聞記事から気付きを交流する。

3つの記事(A・B・C)を用意し、Aは必須、B・Cは選択

3 パフォーマンス課題を解く。

意図と理由を自由に記述できるワークシートを活用

4 3つの記事の要旨（中心）を交流する。

前前時の「主役」と中心を結び付けて確認

5 単元全体を振り返る。

単元全体を通して身に付いた力とその力をどうつなげていくかを記述

木野村先生より

- 児童は、意欲的に3つの新記事を読み比べ要旨をつかむことができていたが、書き手の意図を読み取るころまでには至っていない児童もいた。今後の「読むこと」の指導で筆者は何を伝えたいのかを読み取る指導をていねいに行っていく。
- 新聞の難語句の意味を知りたいという児童の姿があった。辞書がすぐに引ける環境作りを行っていく。
- 学習計画は単元のゴールを見据えることはできると同時に、次時の学習内容を明記してしまう。掲示するなら工夫が必要である。



児童の振り返りより

- 家で新聞を読む時に主役（中心）や書き手が一番伝えたいことをさがしてみたいです。
- この学習でついた読み取る力を国語の文章とか算数の文章題に使いたいです。
- 身につけた力を他の学習でもいかしていきたいです。ふだんから新聞を見て、もっともっと学びを深めたい！と思いました。
- 家で新聞とインターネットなどを比べてみたいです。両方にどんないいことがあるか比べたいです。



22日のサテライト研修でも、同系統の授業を提案します。指導案検討や事前研修を以下の日程で行う予定です。お忙しい中ですが、よろしくお願いします。

指導案検討：6/14（水）16：10～16：30（職員室）

事前研修：6/20（火）16：10～16：30（校長室）